

決裁指定

關

房官臣大	課局務主	證認濟裁決	大臣	件番受
了結	領受	領受	五	名
大正	大正	大正	五	陸軍部外九件中改正並陸軍准尉ノ任次ニ関スル規集
年	年	年	次官	領
八月廿四日	七月十九日	月	五	一六〇七
覽	決行	帶	參事	應名
長	局長	局長	局長	軍事課
			主務	
			課長	
			主務	
			課長	
			主務	
			課員	
			主計	
			官房	
			副官	
			主務	
			審	
			案	
			筆	
			記	
			者	

進帶

各局保

工政、忠實運集

決行後回覽

教育法部新案の取柄採生後沙波年久々の中改正  
案議付書長官教育總監、照會案 添書

首題、添、関、制、成、期、起、案、改、在、案、以、意、見

承、知、改、理、由、書、添、以、以、案、書、也

一、初、以、案、集、案、多、期、(案、集、案、多、期、) 三、一、二、九、總、七、月、廿、六、日

右、案、存、十、年、回、答、ア、リ、ス、後

陸軍服制外之体中改正並案系總務部

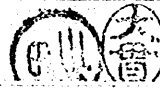
條例廢止ノ件

案議提出案

別、成、制、多、案、ノ、通、陸、軍、服、制、外、之、体、中、改、正、並、案、系、總、務、部

成、總、務、部、制、外、之、体、中、改、正、並、案、系、總、務、部、理、由、書、ヲ、具、シ、関、議

ヲ、請、フ



陸軍省 陸普第 三一四六號 七月三日

勅令 案

陸軍服制中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布ス

御名 御璽

大正九年八月七日

内閣總理大臣

陸軍大臣

勅令第一五三三号

陸軍服制中改正ノ件

(以テ別紙ノ通)

陸軍省 陸普第 三一四六號



1028

陸軍省 陸普第 三一四六號

陸軍大臣

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省

陸軍省



陸軍服制  
陸軍服制の沿革  
陸軍服制の沿革  
陸軍服制の沿革

陸軍服制の沿革  
陸軍服制の沿革  
陸軍服制の沿革  
陸軍服制の沿革

陸軍服制

陸軍服制の沿革

陸軍服制の沿革

陸軍服制の沿革

陸軍服制の沿革

陸軍服制の沿革

陸軍服制の沿革

1028

陸軍服制の沿革

勅令案

朕明治三十五年勅令第十一号陸軍武官官等表  
中<sup>件</sup>改正ノ旨ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セム

御名 御璽

大正九年八月七日

内閣總理大臣

陸軍大臣

勅令第<sup>三</sup>百<sup>四</sup>十<sup>五</sup>号

明治三十五年勅令第十一号中左ノ通改正ス

一以下別表ノ通

君相<sup>山</sup>家<sup>馬</sup>

(家)

勅令案

朕陸軍部令改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之  
ヲ公布セシム

御名 御璽

大正九年八月七日

内閣總理大臣

陸軍大臣

勅令第一三五号

陸軍部令改正ノ件

(以下別紙ノ如ク)

陸軍部令改正ノ件

勅令案

陸軍部技師本部令甲改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ  
之ヲ公布セシム

御名 御璽

大正九年八月七日

内閣總理大臣

陸軍大臣

勅令第二百三十九号

陸軍部技師本部令甲左ノ如ク改正ス

(以下別紙ノ如ク)

左ノ如ク改正ス

勅旨 案

服 砲兵工廠條例 中改正ノ 件ヲ 載ケシ 茲ニ之  
ヲ 公布セシム

御名 御璽

大正九年八月七リ

内閣總理大臣

陸軍大臣

勅旨 第二百三十四号

砲兵工廠條例 中左ノ 點 改正ス

(以下勅旨ノ 趣)

陸軍省 勅旨 第二百三十四号

正

印



勅令案

朕高等官官等俸給中改正ノ件ヲ裁可シ  
茲之ヲ公布スル

御名 御璽

明治九年八月七日

内閣總理大臣

陸軍大臣

勅令第三百四十二号

高等官官等俸給中左ノ如ク改正ス

(以下別紙ノ如ク)

左切山名(内閣)

勅令案

朕等職部條例中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布スルム

御名 御璽

大正九年八月七日

内閣總理大臣

陸軍大臣

勅令第百三十三号

警備部條例中改正ノ件

(勅令)

皇親國戚

陸

軍

勅令案

朕東京御成徳野部修例廣正ノ件ヲ裁可シ茲

ニ及リ公布スルム

御名御面玉

大正九年八月七日

内閣總理大臣

陸軍大臣

勅令ノ旨

東京御成徳野部修例ハ大正九年八月十日ヨリ施行ス

之ヲ廣正ス

附則

本令ハ大正九年八月十日ヨリ之ヲ施行ス

教育總監部條例外二件中改定並警備  
警察部守備部條例外二件停止一件是停止

上奏案

教育總監部條例外二件中改定並警備警察部  
條例外二件停止一件是軍令案  
制定及成之カ施行ラ令セラレ後理由書ヲ具  
シ送テ奏ス

(別紙)

軍令案

教育總監部條例ヲ改定シ之カ施行ラ令ス

八月七日  
八月八日  
八月九日

陸

陸

1037

軍令

教育總監

警察部

守備部

條例外

二件

停止

文

具了備

年



1037

傳令

教習傷患中條例

將校及兵隊等之條例

陸軍服最規則

陸軍中隊、法隊、衛隊之條例

陸軍中隊、信神名隊等之條例

（青字）

廣

御名 御璽

年月日

陸軍大臣

軍令陸第

号

陸軍令

土

號

八月七日

八月九日官報掲載済

(古)

教書總監部條例中左ノ通改正ス

實報照合

(以下別紙ノ通)

軍令案

朕陸軍將校生徒訓練委託條例ヲ改定シ之カ  
施行スル事

御名 御璽

年月日

陸軍大臣

官服照會

陸軍

軍令

第六號

八月七

八月九

日官報掲載済

陸軍務校生徒 禮駭 番負 備例 甲左ノ 題 改定

(以下別紙ノ 題)

軍令案

陸軍服装規則ヲ 改定シ 之ヲ 施行ス

御名 御璽

年月日

陸軍大臣

差

印

軍令陸第

陸軍令陸第 七

八月七日

八月九日官報

陸軍服装規則中左ノ通改定

一以下別紙ノ通

軍令 案

陸軍令陸第 第十号 陸軍准尉ノ位次ニ

關シテ 陸軍准尉候補者教育條例廢止

ノ件ヲ制定シ之ヲ施行スル事

御名 御璽

年月日

陸軍大臣



第百陸拾九号

皇令第一八號

八月七日

八月九日

官報

大正六年八月九日附  
件及陸軍士官學校准尉候補者教育條例ハ大  
正九年八月九日附  
之ヲ廢止ス

陸軍省 案示

朕對馬縣官備隊員等對候補例廢止ノ件ヲ創設シ之  
カ施行スル旨又

御名 御璽

年月日

陸軍大臣

陸

軍

軍令陸軍部 号

先島警備隊司令部條例、大正九年八月有限り之  
手廣止云

内閣總理大臣、報告案

首魁、伴勲、海軍部、別送、陸軍部、案、及、後

片、及、也

陸軍部 第三三二〇號 八月十日



# 法制局通過案

勅令第 號

陸軍服制中衣、通改正又

別表陸軍服制表將校同相當官准士官服制正衣、部

肩章、項及軍衣、部肩章、項將校、欄中「星章」

庶共」ヲ「星章」ニ改ム

別表下共兵卒服制中臂章、部肩章稱「火工掛下

士」ヲ「火工長」ニ改ム「鍛工長」下「機工長」

同表士官、下士、兵候補者服制中「肩章」中央、地

方幼年學校生徒」ヲ「陸軍士官學校豫科、陸軍幼年

學校生徒」ニ「砲兵工長候補生徒」ヲ「工料學校生徒」

ニ改ム

別表中「砲兵工長候補生徒」欄中「砲兵科」砲兵科ニ改ム

1043



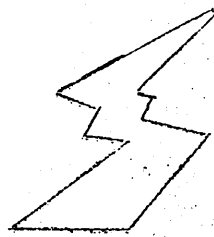
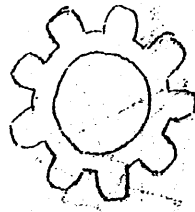
本令ハ大正九年八月十日ヨリ之ヲ施行ス

附則

別表

下士兵卒服制圖臂章ノ部  
 火工掛下士  
 火工長  
 改

機工長  
 電工長



陸軍服制中改正理由書

將校生徒及砲工兵工長制度ノ改正ニ伴ヒ本  
令改正ノ必要ヲ認メタルニ由ル

陸  
軍

11月27日  
陸軍省

陸軍武官官等表中改正

勅令第 號

明治三十五年 勅令第十一號 中左ノ通改正ス

別表中

陸軍歩兵少尉	陸軍歩兵少尉	陸軍砲兵少尉	陸軍砲兵少尉	陸軍工兵少尉	陸軍工兵少尉	陸軍騎兵少尉	陸軍騎兵少尉	陸軍輜重兵少尉	陸軍輜重兵少尉
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	---------

ヲ

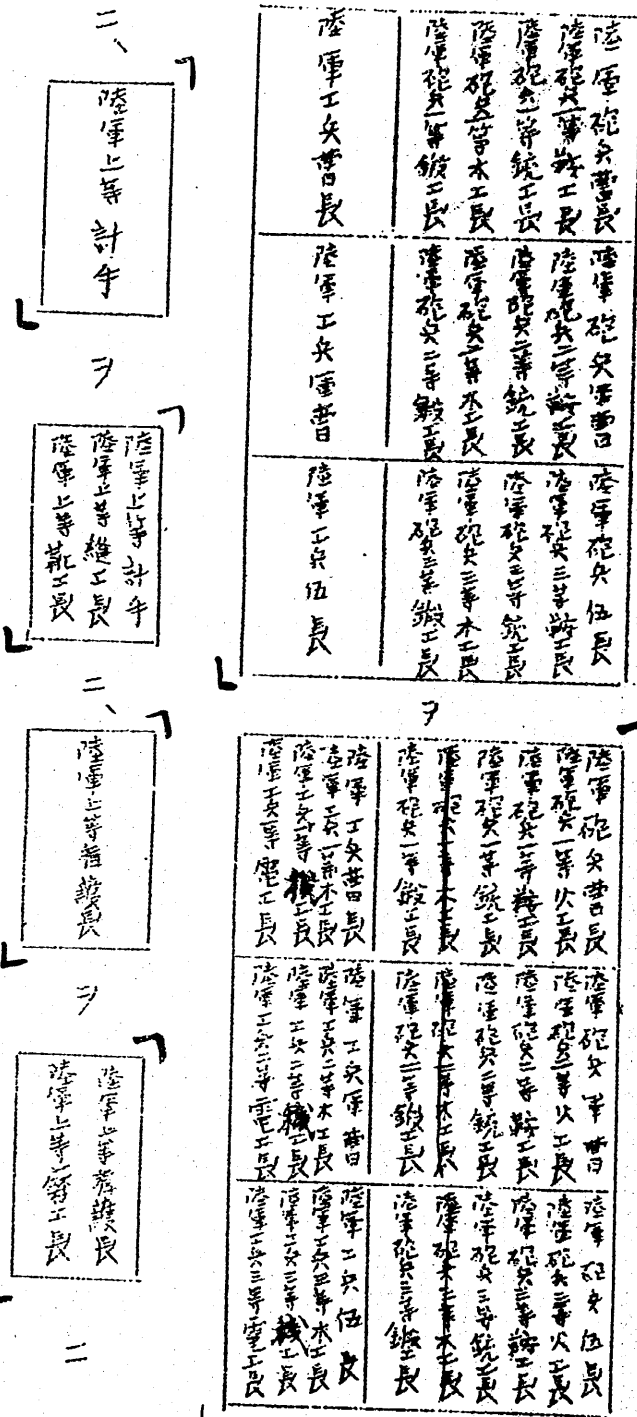
陸軍歩兵少尉	陸軍砲兵少尉	陸軍工兵少尉	陸軍騎兵少尉	陸軍輜重兵少尉
--------	--------	--------	--------	---------

ニ、

改ム

附 則

本令ハ大正九年八月十日ヨリ施行スルニ付  
 本令施行期前ニ在リテ陸軍上等銃工長  
 陸軍砲兵一等銃工長  
 陸軍砲兵二等銃工長  
 陸軍砲兵三等銃工長  
 陸軍砲兵四等銃工長  
 陸軍砲兵五等銃工長  
 陸軍砲兵六等銃工長  
 陸軍砲兵七等銃工長  
 陸軍砲兵八等銃工長  
 陸軍砲兵九等銃工長  
 陸軍砲兵十等銃工長  
 陸軍砲兵十一等銃工長  
 陸軍砲兵十二等銃工長  
 陸軍砲兵十三等銃工長  
 陸軍砲兵十四等銃工長  
 陸軍砲兵十五等銃工長  
 陸軍砲兵十六等銃工長  
 陸軍砲兵十七等銃工長  
 陸軍砲兵十八等銃工長  
 陸軍砲兵十九等銃工長  
 陸軍砲兵二十等銃工長  
 陸軍砲兵二十一等銃工長  
 陸軍砲兵二十二等銃工長  
 陸軍砲兵二十三等銃工長  
 陸軍砲兵二十四等銃工長  
 陸軍砲兵二十五等銃工長  
 陸軍砲兵二十六等銃工長  
 陸軍砲兵二十七等銃工長  
 陸軍砲兵二十八等銃工長  
 陸軍砲兵二十九等銃工長  
 陸軍砲兵三十等銃工長  
 陸軍砲兵三十一等銃工長  
 陸軍砲兵三十二等銃工長  
 陸軍砲兵三十三等銃工長  
 陸軍砲兵三十四等銃工長  
 陸軍砲兵三十五等銃工長  
 陸軍砲兵三十六等銃工長  
 陸軍砲兵三十七等銃工長  
 陸軍砲兵三十八等銃工長  
 陸軍砲兵三十九等銃工長  
 陸軍砲兵四十等銃工長  
 陸軍砲兵四十一等銃工長  
 陸軍砲兵四十二等銃工長  
 陸軍砲兵四十三等銃工長  
 陸軍砲兵四十四等銃工長  
 陸軍砲兵四十五等銃工長  
 陸軍砲兵四十六等銃工長  
 陸軍砲兵四十七等銃工長  
 陸軍砲兵四十八等銃工長  
 陸軍砲兵四十九等銃工長  
 陸軍砲兵五十等銃工長  
 陸軍砲兵五十一等銃工長  
 陸軍砲兵五十二等銃工長  
 陸軍砲兵五十三等銃工長  
 陸軍砲兵五十四等銃工長  
 陸軍砲兵五十五等銃工長  
 陸軍砲兵五十六等銃工長  
 陸軍砲兵五十七等銃工長  
 陸軍砲兵五十八等銃工長  
 陸軍砲兵五十九等銃工長  
 陸軍砲兵六十等銃工長  
 陸軍砲兵六十一等銃工長  
 陸軍砲兵六十二等銃工長  
 陸軍砲兵六十三等銃工長  
 陸軍砲兵六十四等銃工長  
 陸軍砲兵六十五等銃工長  
 陸軍砲兵六十六等銃工長  
 陸軍砲兵六十七等銃工長  
 陸軍砲兵六十八等銃工長  
 陸軍砲兵六十九等銃工長  
 陸軍砲兵七十等銃工長  
 陸軍砲兵七十一等銃工長  
 陸軍砲兵七十二等銃工長  
 陸軍砲兵七十三等銃工長  
 陸軍砲兵七十四等銃工長  
 陸軍砲兵七十五等銃工長  
 陸軍砲兵七十六等銃工長  
 陸軍砲兵七十七等銃工長  
 陸軍砲兵七十八等銃工長  
 陸軍砲兵七十九等銃工長  
 陸軍砲兵八十等銃工長  
 陸軍砲兵八十一等銃工長  
 陸軍砲兵八十二等銃工長  
 陸軍砲兵八十三等銃工長  
 陸軍砲兵八十四等銃工長  
 陸軍砲兵八十五等銃工長  
 陸軍砲兵八十六等銃工長  
 陸軍砲兵八十七等銃工長  
 陸軍砲兵八十八等銃工長  
 陸軍砲兵八十九等銃工長  
 陸軍砲兵九十等銃工長  
 陸軍砲兵九十一等銃工長  
 陸軍砲兵九十二等銃工長  
 陸軍砲兵九十三等銃工長  
 陸軍砲兵九十四等銃工長  
 陸軍砲兵九十五等銃工長  
 陸軍砲兵九十六等銃工長  
 陸軍砲兵九十七等銃工長  
 陸軍砲兵九十八等銃工長  
 陸軍砲兵九十九等銃工長  
 陸軍砲兵百等銃工長





本令施行之際現陸軍砲兵等表長陸軍砲兵等表長又小陸軍砲兵等表長  
 本令長上者別ニ待命書<sup>(分付)</sup>別ニ各表長陸軍砲兵等表長陸軍砲兵等表長  
 又小陸軍砲兵等表長ニ同俸給ヲ以テ注セラレタルモノトス

陸軍武官官等表改正理由書

准尉制度砲兵工兵工長制度ノ改正及<sup>上</sup>砲工長  
 砲工長制度ノ新設ニ伴ヒ本令改正ノ必要ヲ認  
 メタルニ由ル

陸軍

勅令第

號

陸軍兵器部令中左ノ通改正ス

第二條第二項ヲ左ノ如ク改ム

前項陸軍部隊ハ陸軍兵器廠、砲兵工廠及要塞

司令部ヲ包含セス近衛、第一、第四、第五、第九

及第二十師團ニ在リテハ、當該師團長ニ隷屬スル

部隊トス

第八條中「砲兵諸工長及火工掛下士」ヲ「砲工兵諸工長」

ニ改ム

第九條中「砲兵諸工長及火工掛下士」ヲ「<sup>米ノ教育並</sup>砲工兵

諸工長」ニ改ム

附則

本令ハ大正九年八月十日ヨリ之ヲ施行ス

陸軍兵器部令中改正理由書

航空兵隊ノ移轉及砲工兵工長制度ノ改正ニ伴ヒ  
本令改正ノ必要ヲ認メタルニ由ル

陸軍

勅令第 號

陸軍技術本部令中左ノ通改正ス

第三條 ~~第十條~~ 及第九條中「陸軍技術將校」ノ下ニ

「陸軍工科學校」ヲ卒業シタル砲工兵科將校」ヲ

~~第十條~~ 陸軍科學研究所」ノ下ニ「陸軍工科學校」ヲ加シ

第十條中「陸軍砲兵工科學校」學生及生徒ノ教

育ニ関シテ意見ヲ砲兵工學提理ニシテ削ル

附則

第十六條中「海軍將校」ヲ「海軍士官」ニ改ム

本令ハ大正九年八月十日ヨリ之ヲ施行ス

陸軍技術本部令中改正理由書  
 砲工兵工長及教育制度改正ニ伴ヒ本令改正ノ  
 必要ヲ認メタルニ由ル

陸

軍

5

勅令第 號

砲兵工之敵條例中左ノ通改正ス

第六條第二項ヲ削ル

附則

本令ハ大正九年八月十日ヨリシテ施行ス

砲兵工廠條例中改正理由書  
 砲兵工廠長教育制度ノ改正ニ伴ヒ本令改正ノ  
 必要ヲ認メタルニ由ル

陸  
軍

勅令第

號

高等官官等俸給令中左ノ通改正ス  
別表第一表陸軍省ノ部<sup>中</sup>陸軍准尉<sup>レ</sup>ヲ

削ル

附則

本令ハ大正九年八月十日ヨリ之ヲ施行ス



高等官官等ノ俸給令中改正理由書  
 准尉制度ノ廢止ニ伴ヒ本令改正ノ必要ヲ認  
 メタルニ由ル

陸  
軍

勅令第 號

築城部條例中左ノ通改正ス

第三條第一項中支部ノ主計ノ次ニ技師ヲ加フ

同條第三項中技師ヲ軍醫ニ改ム

第五條中對馬ニ在リテハ對馬警備隊司令官ヲ削ル

第七條中部員主計ヲ部員主計、軍醫ニ改ム

第十條中對馬ニ在リテハ對馬警備隊司令部ヲ削ル

附則

本令ハ大正九年八月十日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第 一 號

東京衛戍總督部條例之施行

附則

本令は、大正九年八月十四日ヨリ之ヲ施行ス

1090

由ル 平時編制、築城部條例中改正理由書  
改正に伴ヒ本條例改正、必要アリ

1061

東多衛成徳部名例成止理由  
東多衛成徳部名例成止理由

陸  
軍

軍令陸第

第

教育總監部條例中左ノ通改正ス

第三條及第八條中「陸軍中央幼年學校」ヲ削リ

「陸軍地方幼年學校」ヲ「陸軍幼年學校」ニ改ム

附則

本令ハ大正九年八月廿三日之ヲ施行ス

教育總監部條例中改正理由書  
陸軍中央幼年學校ヲ廢シ陸軍地方幼年學  
校ヲ陸軍幼年學校ト改メタルニ由ル

陸軍

軍令陸第 號

陸軍將校生徒試験委員條例中左ノ通改正ス

第二條 常置委員ハ之ヲ教育總監部ニ置キ陸軍

士官學校<sup>（兼）</sup>生徒及陸軍幼年學校生徒ノ召募試

験格並試験問題其他試験ニ関スル事項ヲ

調査立案シ陸軍士官學校<sup>（兼）</sup>生徒ノ志願書類

ヲ審査シ且陸軍士官學校<sup>（兼）</sup>生徒及陸軍幼年學校

校生徒ノ召募試験ノ成績ヲ調査スルモノニシテ其

ノ組織左ノ如シ

常置委員長

常置委員

常置委員主事

本令ハ大正九年十一月九日之ヲ施行ス



第九條中「必要之應ニ部下將校團長若ハ」ヲ「部下」ニ  
「近衛師團ノ將校團長若ハ佐官」ヲ「近衛師團ノ佐官」ニ  
改ム

附則

本令ハ大正九年八月十日ヲ之ニ施行ス

陸軍將校生徒試験委員條例中改正

理由書

將校生徒ノ補充制度ヲ改正セル爲本令改正ノ  
必要ヲ生シタルニ由ル

陸軍

理由書

陸軍令陸軍第 號

陸軍服裝規則中左ノ通改正ス

第十三條及第十四條中「砲兵諸工長」ヲ「砲工兵諸工長」

ニ改ム  
第百九條中「東京衛戍總督」ヲ「第百條中「東京衛戍總督及」ヲ「第百條中「東京衛戍總督」ヲ削ル  
第百四條中「中央及地方幼年學校生徒、砲兵工科學校

校生徒」ヲ「陸軍士官學校豫科生徒、陸軍幼年學校

校生徒、陸軍工科學校生徒」ニ「但シ幼年學校生

徒」ヲ「但シ陸軍士官學校豫科生徒及陸軍幼

年學校生徒」ニ改ム

年學校生徒」ニ改ム

附則

本令ハ大正九年八月十日ヲシテ施行ス

陸軍服装規則中改正理由書

將校生徒及砲工兵工長制度ヲ改正セル為本令  
改正ノ必要ヲ生シタルニ由ル

陸  
軍

火正木軍軍令陸第十號陸軍准尉ノ位次ニ

關スル件及陸軍准尉候補者教育條例廢止

理由書

吉岡典子様

准尉制度廢止ノ結果本令存置ノ必要ナキニ由ル

陸軍

准尉制度廢止ト下士制度改正ノ關係ニ就テ

特務曹長ヨリ將校ニ進級スヘキ途ヲ開クノ議ハ大正七年  
四月ニ始マリ當時砲工兵工長制度ヲ改正シ中級技術官  
(即チ將校)ニ任スルノ件先ツ決定シ次テ大正八年一月ニ至リ下級  
經理官ノ補充制度ノ改正ニ及ヒ次テ教育制度調査委  
員會ニ依テ將校生徒ノ教育及補充制度ヲ決議シ更ニ  
制度調査會ニ於テ准尉制度ノ改正ヲ決議シ其ノ結果  
特務曹長ヲ士官學校ニ於テ教育スル如ク加味シテ大正九  
年度ノ豫算ニ計上セリ此頃海軍ニ於テハ特務將校ノ  
制度ヲ定メ實行セルカ陸軍ニ於テハ此方法ハ不徹底ナリ  
トシ益々准尉制度廢止ノ議ヲ固フシ改正スヘキ士官學校

大正九年七月二十七日

ノ制度内ニモ特ニ此教育ニ関シカヲ加ヘ大正九年四月一日ヨリ  
 之ヲ實施スル旨ナリシカ豫算ノ不成立ハ今日迄凡テノ施  
 設ノ延期ヲ来スノ止ムヤキニ至レリ

翌ルニ大正九年四月師團長會議ニ際シ下士優遇補充及  
 教育ニ関シ一諮問セラレタル結果大体ニ於テ准尉制度ノ廢  
 止、物質的待遇ノ向上及補充法トシテ中隊教育ヲ發シ  
 何等カ統一的教育ヲナスヘキ事ニ各師團長ノ意見一致セ  
 リ

從テ准尉制度ノ廢止ハ既定ノ事實トシテ既ニ解決セルモノ  
 トシ新ニ計畫スヘキ下士制度改善ニハ左ノ件ヲ加フル事ト  
 セリ

一、物質的待遇ノ向上ノ為下士ノ進級ヲ速カラシム

此ノ點ニ於テ軍隊内務書ノ改正ノ為要スル下士ノ増

加数ヲ上級下士ヲ増加スル事

ニ下士ノ素質ヲ向上シ且教育ヲ完全ニスル為集合教育

ヲ行フ事

右西要件ニ依リ大正十年度豫算ニ計上スル如ク目下研究  
中ナリ

### 結論

以上ヲ綜合スルニ准尉制度ノ廢止ハ下士制度ノ改正ノ一

要件ナリト雖此件ハ既定事項トシテ既ニ實行機運セルモ一般下士ノ待遇向上兼素質及教育

ノ改善ハ之ニ及ビ目下豫算編成中ニシテ大正十年豫

算成立ヲ待テ實行スヘキ経路ニアルモノナリトス

依テ特務曹長ヨリ將校ニ進級シ得ル途ハ此際各兵科

及経理部ヲ通シ之ヲ認メラレ度



勅令第 號

陸軍服制中左、通改正ス

別表陸軍服制表將校同相當官准士官服制正衣、部  
肩章、項及軍衣、部肩章、項將校、欄中、星章（  
座共）ヲ、星章ニ改ム

將校同相當官准士官服制圖正帽、圖中、少尉同相當  
官及准尉ヲ、少尉同相當官ニ改ム

同服制圖正衣、袖章、圖中、少尉同相當官及准尉  
ヲ、少尉同相當官ニ改ム

同服制圖正衣、肩章、圖中准尉ノ肩章ノ圖ヲ削リ  
尉官（准尉ヲ除ク）同相當官ヲ、尉官同相當官ニ、少尉  
同相當官及准尉ヲ、少尉同相當官ニ改ム

附表、  
1074

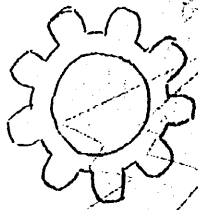
尉リ 心 當 一 部

附表ノ藝削云、藝削後ノ部、  
備章ノ部、  
及令、  
備章ノ部ノ削除セラレシ  
衛生課

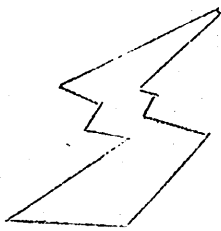
同服制圖軍長ノ肩章ノ圖中陸尉ノ肩章ノ圖ヲ削ル  
 別表下士兵卒服制中臂章ノ部名稱ヲ行フ火工掛下  
 士<sup>ト</sup>火工長<sup>ニ</sup>改メ<sup>テ</sup>鍛工長<sup>ト</sup>、<sup>機工長</sup>電工長<sup>ト</sup>ヲ加フ  
 同表士官、下士、兵候補者服制中名稱ノ行フ中央、地  
 方幼年學校生徒<sup>ト</sup>陸軍士官學校豫科、陸軍幼年  
 學校生徒<sup>ト</sup>砲兵工長候補生徒<sup>ト</sup>工料學校生徒<sup>ト</sup>  
<sup>ニ</sup>改ム

同表中砲兵工長候補生徒ノ欄中<sup>ニ</sup>砲兵料<sup>ヲ</sup>砲兵料<sup>ニ</sup>改ム  
 下士兵卒服制圖臂章ノ部<sup>ニ</sup>火工掛下士<sup>ト</sup>火工長<sup>ト</sup>改  
 ム<sup>テ</sup>鍛工長<sup>ト</sup>、次<sup>ニ</sup>左圖<sup>ヲ</sup>加フ

機工長



電工長



1026

附則  
本令ハ大正九年八月十日ヨリ之ヲ施行ス

陸軍武官官等表中改正

勅令第 號

明治三十五年勅令第十一號中左ノ通改正ス

別表中

陸軍歩兵少尉	陸軍歩兵少尉	陸軍騎兵少尉	陸軍砲兵少尉	陸軍砲兵少尉	陸軍工兵少尉	陸軍工兵少尉	陸軍輜重兵少尉	陸軍輜重兵少尉
--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	---------

フ

陸軍歩兵少尉	陸軍騎兵少尉	陸軍砲兵少尉	陸軍工兵少尉	陸軍輜重兵少尉
--------	--------	--------	--------	---------

二、

改ム

附 則

本令ハ大正九年八月十日ヨリ之ヲ施行ス  
 本令施行ノ際砲兵一等木工長、砲兵二等木工長、砲兵三等木工長ハ別ニ  
 令ヲ用テ各工兵一等木工長、工兵二等木工長、工兵三等木工長ニ任セラルトス

二、陸軍上等計手

陸軍砲兵曹長	陸軍砲兵曹長	陸軍砲兵伍長
陸軍砲兵一等銃工長	陸軍砲兵二等銃工長	陸軍砲兵三等銃工長
陸軍砲兵一等木工長	陸軍砲兵二等木工長	陸軍砲兵三等木工長
陸軍砲兵一等鍛工長	陸軍砲兵二等鍛工長	陸軍砲兵三等鍛工長
陸軍工兵曹長	陸軍工兵曹長	陸軍工兵伍長

二、陸軍上等計手

陸軍砲兵曹長	陸軍砲兵曹長	陸軍砲兵伍長
陸軍砲兵一等銃工長	陸軍砲兵二等銃工長	陸軍砲兵三等銃工長
陸軍砲兵一等木工長	陸軍砲兵二等木工長	陸軍砲兵三等木工長
陸軍砲兵一等鍛工長	陸軍砲兵二等鍛工長	陸軍砲兵三等鍛工長
陸軍工兵曹長	陸軍工兵曹長	陸軍工兵伍長

機

機

機

勅令第 號

陸軍兵器部令中左ノ通改正ス

第二條第二項ヲ左ノ如ク改ム

前項陸軍部隊ハ陸軍兵器廠、砲兵工廠及要塞  
司令部ヲ包含セス近衛、第一、~~第二~~、~~第三~~、~~第四~~、~~第五~~、~~第六~~、~~第七~~、~~第八~~、~~第九~~  
及第二十師團ニ在リテハ、當該師團長ニ隸屬スル  
部隊トス

第八條中「砲兵諸工長及火工掛下士」ヲ「砲、工兵諸工長」  
ニ改ム

第九條中「砲兵諸工長及火工掛下士」ヲ「砲、工兵  
諸工長」ニ改ム

附則

本令ハ大正九年八月十日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第 號

陸軍技術本部令中左ノ通改正ス

第三條第一號及第九條中「陸軍技術將校」ノ下ニ

「陸軍工科學校」ヲ卒業シタル砲、工兵科將校」ヲ

加フ  
第九條中「陸軍科學研究所」ノ下ニ「及陸軍工科學校」ヲ加フ

第十條中「陸軍砲兵工科學校」學生及生徒ノ教

育ニ関シ意見ヲ砲兵工廠提理ニシテ削ル

附則

本令ハ大正九年八月十日ヨリ之ヲ施行ス



勅令 第 號

砲兵工廠條例中左ノ通改正ス  
第六條 第二項ヲ削ル

附則

本令ハ大正九年八月十日ヨリシテ施行ス

勅令第

號

高等官官等俸給令中左ノ通改正ス  
別表第一表中陸軍省ノ部「陸軍准尉」ヲ削ル

附則

本令ハ大正九年八月十日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第 號

築城部條例中左ノ通改正ス

第三條第一項中支部ノ主計ノ次ニ「技師」ヲ加フ

同條第三項中「技師」ヲ「軍醫」ニ改ム

第五條中「對馬ニ在リテハ對馬警備隊司令官」ヲ削ル

第七條中「部員主計」ヲ「部員、主計、軍醫」ニ改ム

第十條中「對馬ニ在リテハ對馬警備隊司令部」ヲ削ル

附 則

本令ハ大正九年八月十日ヨリ之ヲ施行ス

教育第一〇四號

教育總監部條例及將校生徒試驗

委員條例中改正ノ件回答

大正九年八月日 教育總監 大谷善久

陸軍大臣 田中義一 殿

首題ノ件ニ関シ七月二十八日附陸軍部第

三二九號ヲ以テ照會ノ趣 異存無之候

也

陸軍